

朝日ソノラマ

ELEC GUITAR METHOD

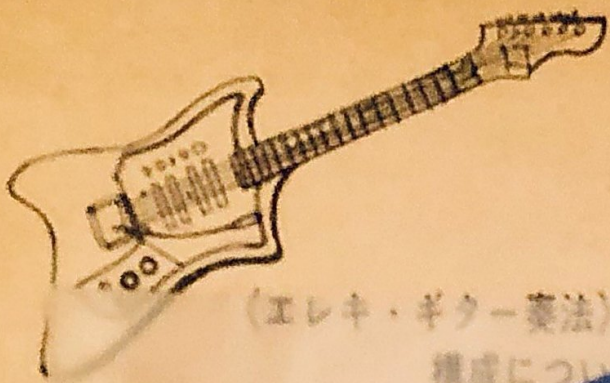
ステレオ

エレキギター奏法 5

木の葉の子守唄 / 霧のカレリア



1Guitar 2Guitar Bass Guitar Drum & Score
完全演奏 / マイナス・ワン演奏 / 奏法解説



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
 STEREO 33 1/3 R. P. M.

第1シート

A面 / 木の葉の子守唄——完全演奏

①番線解放弦“E”の音

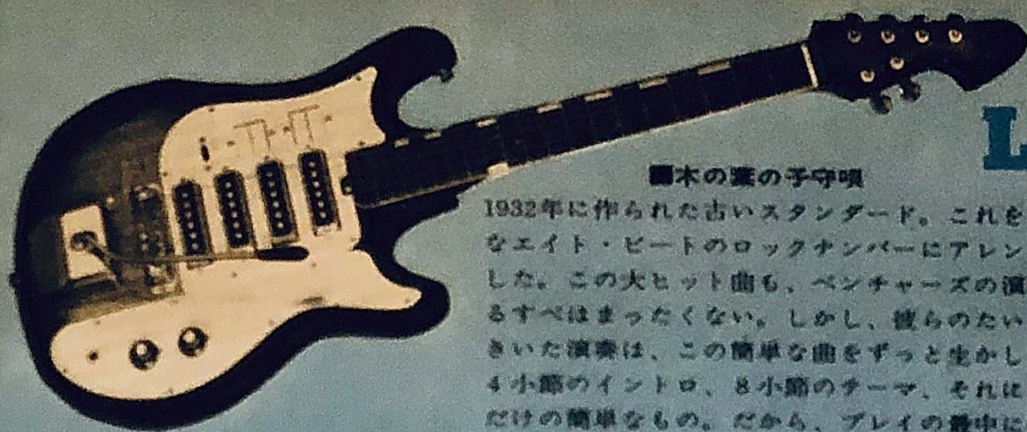
木の葉の子守唄——マイナス・ワン演奏

B面 / 木の葉の子守唄——部分演奏と技術解説

(エレキ・ギター奏法)の
 構成について

第2シート





木の葉の子守唄

LULLABY

OF THE

LEAVES

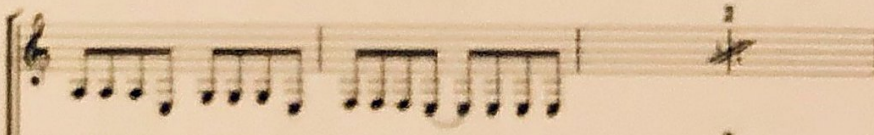
■木の葉の子守唄

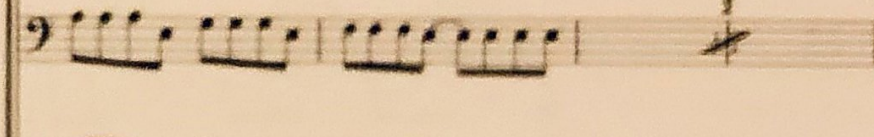
1932年に作られた古いスタンダード。これをベンチャーズが、快速なエイト・ビートのロックナンバーにアレンジしてリバイバルしました。この大ヒット曲も、ベンチャーズの演奏から原曲の面影を知るすべはまったくない。しかし、彼らのたいへんに速い、ビートのきいた演奏は、この簡単な曲をずっと生かしているといえる。形も、4小節のイントロ、8小節のテーマ、それに8小節のサビとコードだけの簡単なもの。だから、プレイの最中に一瞬たりといえども、とまどってはならない。イントロはまず2小節間のドラムソロにはじまり、そのあと4小節間のセカンドとベースのユエゾンのリズムである。このイントロの後7小節目からのメロディー、サビ、リピートしてコード、これだけからこの曲は構成されている。演奏解説で全体をカバーして、マスターするのは簡単。一気に快速なテンポで演奏しよう。これが曲を生かす最高の方法である。

演奏技術解説

■イントロ

楽譜 1.

2nd Gt. 

B Gt. 

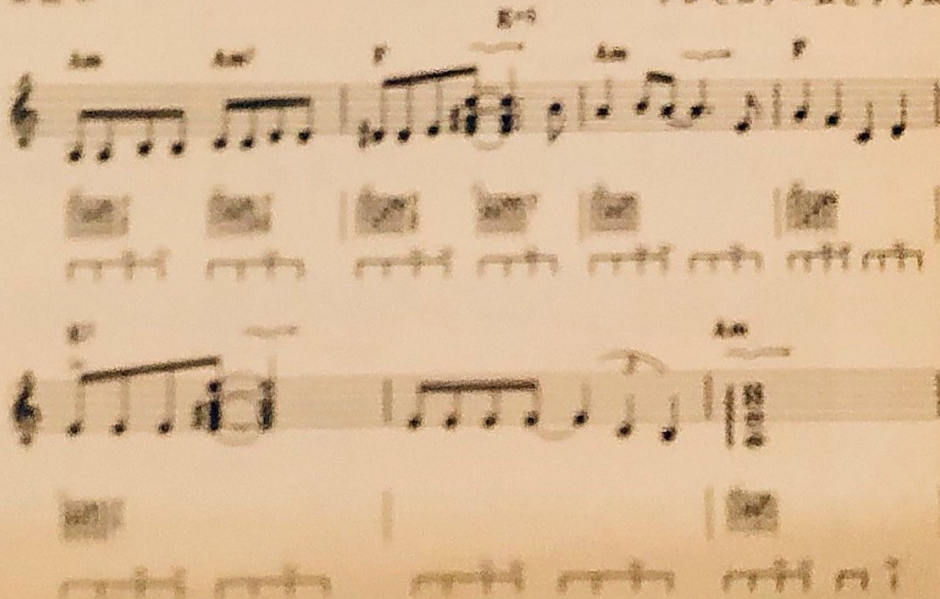
Dr. 

セカンドギターとベースギターがユエゾンで速いエイト・ビートを奏する。ドラムは連打。このスリー・パートのリズムが絶対に乱れないこと、アタメントがよいタイミングでつくこと、この3点が大切である。ま、4小節目に出てくる2小節目からの2小節目のタイは、タイをつなぐためのもの

にアタメントをつけることによって、ビートを生かすことができる。この3点が大切である。ま、4小節目に出てくる2小節目からの2小節目のタイは、タイをつなぐためのものにアタメントをつけることによって、ビートを生かすことができる。

■リズムも音楽も速い
これは、ビートをからで感じなければならぬ。そうである。その曲は速いという風に思われる。その曲は速いという風に思われる。その曲は速いという風に思われる。

楽譜 2.



を感じるようにしなければならぬ。これは、腰をヒキッたりからだをこすったりすることではない。心の中でビートを打ちながら、頭からつま先まで全身のどこでも感じることである。ビッキングする手先だけとか、ドラミングの腕や足だけで打っていたのでは、生きたビートをとることはできない。かならず振ってきでしよう。

■ファースト・ギターのトレモロアームとドラム

LULLABY OF THE LEAVES

木の葉の子守唄

Petkere-Young
arr. by K. Onozaki

Guitar 1

Moderato

A 8.

B 2x ad lib Solo

C

D D.S.



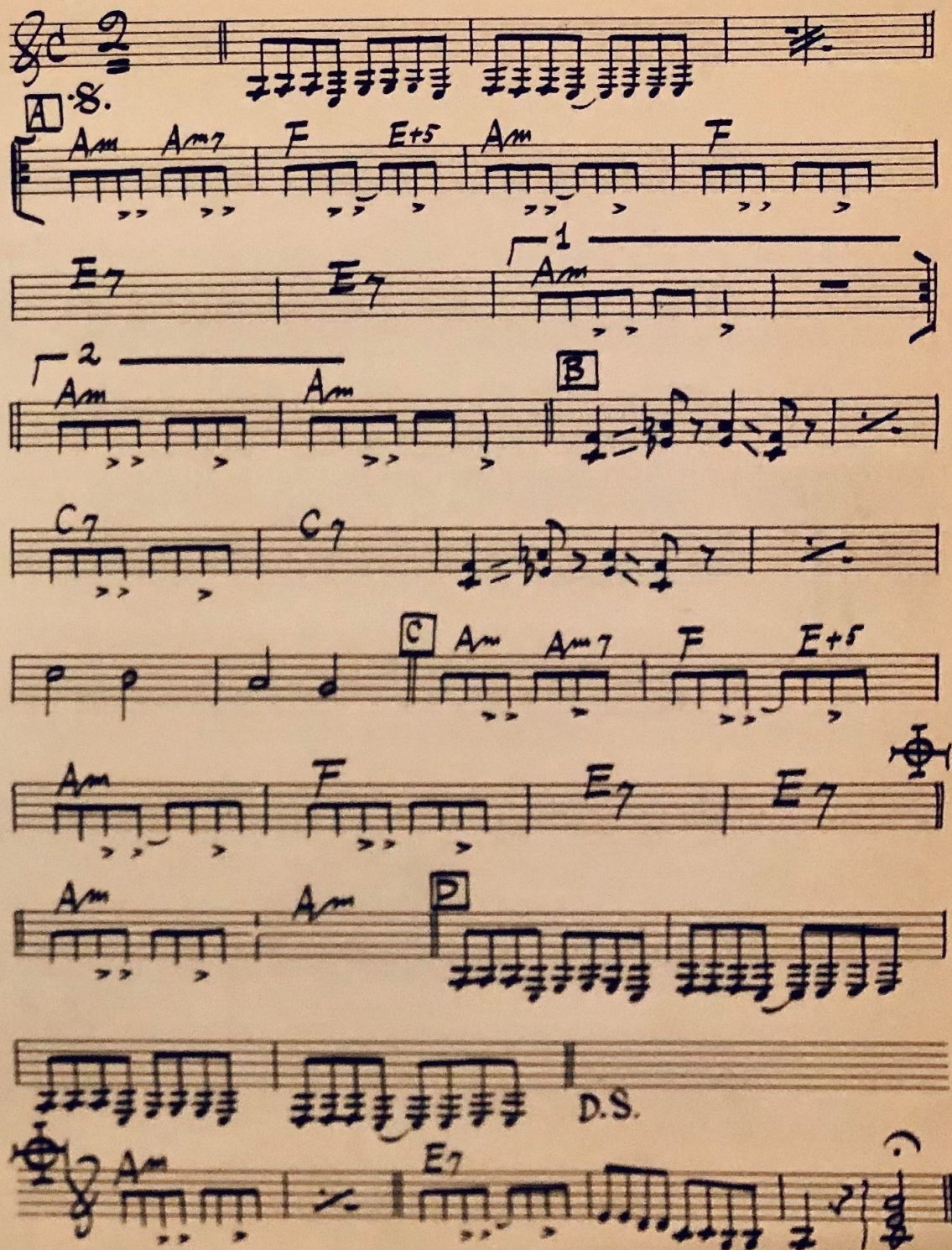
LULLABY OF THE LEAVES

木の葉の子守唄

Petkere-Young
arr. by K. Onozaki

Guitar 2

Moderato



The musical score is written for Guitar 2 in 2/4 time, marked Moderato. It consists of 16 measures across 8 staves. The key signature has one flat (B-flat). The score includes various guitar-specific notations such as chords (Am, Am7, F, E+5, E7, C7), fingerings (1, 2), and articulation marks (accents, slurs). Section markers A, B, C, and D are placed at the beginning of measures 2, 10, 12, and 14 respectively. The piece concludes with a D.S. (Da Capo) instruction at the end of the 16th measure.



技術的困難はないように感じるこの曲は、メロディーを生かすことがとてもむずかしい。**楽譜2**を見てもわかるように、変化の少ないリズムは、ビートによって生かすことはむずかしい。メロディーが甘いので、テンポを引きずると、いやらしくなる。唯一の道は、全体を練習曲のようにキッチリ弾くこと。さらに4小節を一つの単位にとりながら、ダイナミズム(強弱)を変化させることである。自分の心が歌うままにボリュームを変化させてゆくことである。メロディーは、あまりボリュームを上げるのは、よくない。したがって他のパートも加減し、よいバランスを保たなければならない。この時、音色はセカンド・ギターに対してメロディーをやや硬めにとるとなおい。とくに、サイド・ドラムが硬い音で激しくビートを打つのは、よくない。注意しよう。

■セカンド・ギターのコード・リズム

この演奏には、ウクレレがはいっている。これは省いてもさしつかえない。さて、巧みなカッティングは、曲を生かすコツである。しかしこの曲では、ひきずったようなリズムになっている。かえてそれが味となり、より曲を引き立てているから不思議だ。このような曲の場合には、同一コード内または、小節内でのカッティングにこだわらないリズムが必要である。このムードを上手に出して演奏しよう。セカンド・ギターは、この曲で重大なポイントをしめている。

■ベース・ギターのリズム

遅い曲では、なんとなくベースが遅れているように聞こえる。これは、弾いて一瞬後に音が聞こえるという、低音共通の性質。走らないように注意し、できる限り前へ出るようにピッキングすると良い。

■ファースト・ギターのアルペジオとグリッサンド

楽譜 3.

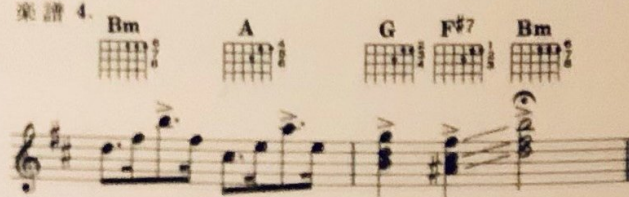


楽譜3ですぐわかるが、この部分は3弦のバレーによって簡単にひける。3小節目に、はじめの音と落着く音のきまったグリッサンドが2回出てくる。2回目C#7に入るグリッサンドで、②弦E#の音をスムーズに出す注意をすれば、バレーのまま簡単にグリッサンドできる。あまり早目にグリッサンド・アップしないように注意しよう。

ここのアルペジオは、3弦を低い方からゆっくり、ポロロンという感じにピッキングする。あまりゆっくりピッキングすると、かえて間が抜ける。この部分は、運指は易しい。アルペジオとグリッサンドをうまく聞かせよう。このサビの部分はF#mに転調している。見落さないように注意しよう。

■コーダのファースト・ギターのグリッサンド

楽譜 4.



ここはイントロと同じコードの進行である。この場合もイントロと同じように、同一コード内の一音ずつの運指はない。リズムをはっきり弾き、F#7→Bmのグリッサンドをうまく弾くことで、ラストの感じを出そう。このグリッサンドは、F#7からすぐやらず、はじめはゆっくり上げ、3拍目(Bm)の直前ですばやくグリッサンド・アップし、Bmのコードを押えると同時にピッキングする。これがエンディングのコツである。他のパートもこれに合わせてリズムの乱れがなくなるまで練習するとよい。この曲は、トリモロアームは使用しない。

KARELIA

霧のカレリア



Ukulele

KARELIA

霧のカレリア

C. Kaparow
arr. by K. Onozaki

Mod. Slow

Ukulele sheet music for "Karelia". The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 4/4. The music is written on a single staff with a treble clef. Chords are indicated by letters above the staff, and some are enclosed in boxes (A, B, C). The notation includes eighth and quarter notes, rests, and dynamic markings like "dim".

©Copyright 1962 by X-Save, Helsinki, Finland. For the World except Finland: Sweden Music AB Stockholm, SW. Assigned to Overseas Music Publishers CO., Ltd.



Drum

KARELIA

霧のカレリア

C. Kaparow
arr. by K. Onozaki

Mod. Slow

Drum sheet music for "Karelia". The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 4/4. The music is written on a single staff with a treble clef. The notation consists of rhythmic patterns represented by 'x' marks on a staff, with some notes and rests. Chords are indicated by letters above the staff, and some are enclosed in boxes (A, B, C). The notation includes eighth and quarter notes, rests, and dynamic markings like "dim".



演奏技術解説

■カレリアとロシア民謡

フィンランドの酒場は夜が早い。そこで若者たちは、最近国境警備がゆるやかになったので、夜中まで営業しているソビエト領の酒場までウォッカを飲みに行くという。こうして軽い財布と重い頭で帰国してくる若者のために、フィンランドの財政は困難になる一方だそう。この話だけでもわかるが、フィンランドは、地理的にノルウェー、スウェーデンと並びながら、文化的にはソビエトに近い。人種も他の北欧諸国とは違って東洋系である。したがって音楽もロシア民謡に似た哀愁にみちたものが多く、私たち日本人にも大変親しみ深い。

■カレリアについて

カレリアとは、このフィンランドの一地方の名前で、昔から強国の侵略が絶えなかった地方でもある。このためか、フィンランド人がこの地名を思うとき、愛国の情と深い哀愁にとらわれるといい、国家的作曲家であったシベリウスも同名の曲を書いている。

■演奏をする前に

このような背景を考えながらこの曲「霧のカレリア」を聞くと、ベンチャーズのようなアメリカ系バンドのロックとは違った魅力があふれていることに気がつく。「トロイカ」をはさんだ甘いメロディーが愁いを含んで私たちの心深く訴えてくる。この曲は、首を振り、体をゆする強烈なビートからなりたっているのではない。しみじみと語りかけてくるこの美しいメロディーを十分に歌いあげてみよう。

■イントロ、ファースト・ギター

楽譜 1. Bm



A



G



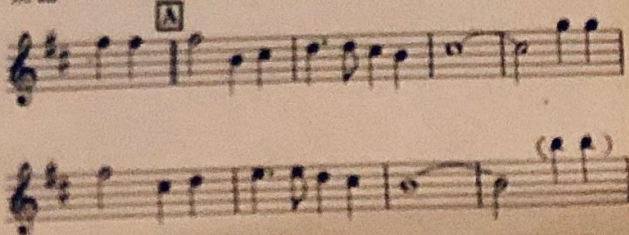
F#7



「急がば廻れ」をはじめ、数多くの曲に出てくるきまったコード進行をする。Bmを7フレットのバレーと4弦9フレット薬指でとることがわかれば、運指は簡単。より注意をするところは、1、2、3小節の2拍目から3拍目へかけてのタイである。このタイは、付点音符の進行であるから注意したい。生きたタイミングは、からだで感じる他はない。小手先だけで弾こうとしてもむりである。タイをつけないで何回も練習し、3拍目の頭を心の中で強くうつようにしよう。次に、だんだん3拍目をビッキングしないようにしていきながら、体でリズムを感じるように注意する。こうしてだんだん生きたリズムをつかもう。この場合に限らず、タイでつながれた初めの音は、常にやや強めに弾く。これがリズム、そして音楽の心を歌い上げるコツである。リズムにのったら、同一コード内で、ビッキングの後、音を残すようにしながら、弾いてみよう。

■メロディーのトーン・コントロールとバランス

楽譜 2.





総譜

LULLABY

木の葉の子守唄

OF THE LEAVES

Petkere-Young
arr. by K. Onozaki

Moderato

Solo
SD

(Repeat 79)

Am Am7 F E+5 Am F E+5

1. 2. [B]

Full Solo

SD

SD

LULLABY OF THE LEAVES

Sheet music for the first system of "Lullaby of the Leaves". The system consists of two staves, each with a treble and bass clef. The key signature is one flat (B-flat). The first staff begins with a C-clef and a key signature change to one sharp (F-sharp). The second staff begins with a C-clef and a key signature change to one flat (B-flat). The music is written in 4/4 time. The first staff contains six measures, and the second staff contains six measures. The first staff includes the following chords: Am, A-7, F, E+5, Am, F, E7. The second staff includes the following chords: Am, Am, and a section marked "S.D." (Soprano Duet) in the third measure. The system ends with a double bar line and the instruction "D.S." (Da Capo).

Sheet music for the second system of "Lullaby of the Leaves". The system consists of two staves, each with a treble and bass clef. The key signature is one flat (B-flat). The first staff begins with a C-clef and a key signature change to one sharp (F-sharp). The second staff begins with a C-clef and a key signature change to one flat (B-flat). The music is written in 4/4 time. The first staff contains four measures, and the second staff contains four measures. The first staff includes the following chords: Am, and a section marked "E7" in the third measure. The second staff includes the following chords: Am, and a section marked "E7" in the third measure. The system ends with a double bar line.





[総 譜]

KARELIA

霧のカレリア

C. Kaparow
arr. by K. Onozaki

Moderato Slow

Handwritten musical score for "KARELIA" (霧のカレリア) by C. Kaparow, arranged by K. Onozaki. The score is written for a band and includes a tempo marking of "Moderato Slow".

The score is divided into two main sections, A and B, with a repeat sign at the end of section B.

Section A: The first system of music, marked with a box 'A', shows the initial melody and accompaniment. The second system continues the melody and includes a key signature change to B minor (Bm) and a tempo marking of "Moderato Slow".

Section B: The third system of music, marked with a box 'B', shows the continuation of the melody and accompaniment. The fourth system continues the melody and includes a key signature change to B minor (Bm) and a tempo marking of "Moderato Slow".

The score includes various musical notations such as notes, rests, and dynamic markings. The key signature is B minor (Bm) throughout the piece.

Chord progressions and notes are as follows:

System 1 (Section A):

- Guitar 1: Bm, A, G, F#7, Bm, Bm, Em6
- Guitar 2: Bm, A, G, F#7, Bm, Bm, Em6
- Bass: Bm, A, G, F#7, Bm, Bm, Em6
- Drum: Bm, A, G, F#7, Bm, Bm, Em6

System 2 (Section A):

- Guitar 1: Em6, F#7, Em / F#7, Bm, Bm, A, G / A7, D
- Guitar 2: Em6, F#7, Em / F#7, Bm, Bm, A, G / A7, D
- Bass: Em6, F#7, Em / F#7, Bm, Bm, A, G / A7, D
- Drum: Em6, F#7, Em / F#7, Bm, Bm, A, G / A7, D

System 3 (Section B):

- Guitar 1: D, Em, G, F# / F#7, F#7, Bm, F#7, Bm / Em
- Guitar 2: D, Em, G, F# / F#7, F#7, Bm, F#7, Bm / Em
- Bass: D, Em, G, F# / F#7, F#7, Bm, F#7, Bm / Em
- Drum: D, Em, G, F# / F#7, F#7, Bm, F#7, Bm / Em

System 4 (Section B):

- Guitar 1: Bm / B7, Em, B7, Em, Bm, Em6, Em / Bm-G7, Bm
- Guitar 2: Bm / B7, Em, B7, Em, Bm, Em6, Em / Bm-G7, Bm
- Bass: Bm / B7, Em, B7, Em, Bm, Em6, Em / Bm-G7, Bm
- Drum: Bm / B7, Em, B7, Em, Bm, Em6, Em / Bm-G7, Bm

The score concludes with a final chord of Bm.

Bass Guitar

KARELIA

霧のカレリア

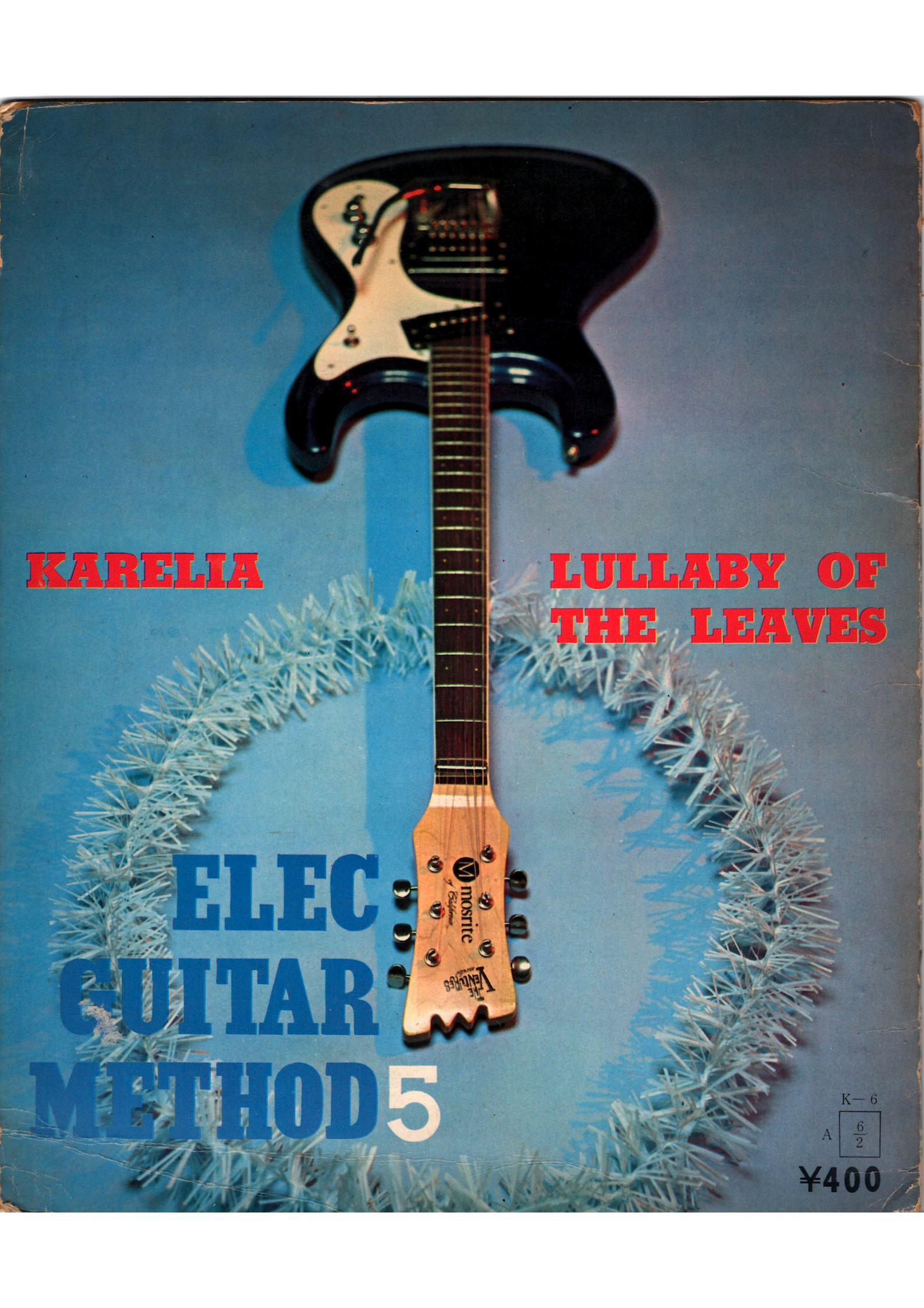
C. Kaparow
arr. by K. Onozaki

Moderato Slow



Musical score for Bass Guitar, featuring ten staves of notation. The score includes various musical symbols such as notes, rests, and accidentals. Key markings include:

- Staff 1: Measure 10 marked with a boxed 'A'.
- Staff 4: Measure 10 marked with a boxed 'B' and a circled '8'.
- Staff 6: Measure 10 marked with a circled 'C'.
- Staff 9: Measure 10 marked with 'D.S.' (Da Capo).
- Staff 10: Measure 10 marked with a circled 'D'.



KARELIA

**LULLABY OF
THE LEAVES**

**ELEC
GUITAR
METHOD 5**

K-6
A $\frac{6}{2}$

¥400